



神戸大学経済経営研究所

Research Institute for Economics and Business Administration, Kobe University

■コラム

RIEB ニュースレターNo.268 2025 年 4 月号

所長就任のご挨拶

神戸大学 経済経営研究所
教授 西谷 公孝

4 月 1 日より経済経営研究所長を拝命しました。当研究所は、学術研究を通じて新たな知識の創出に貢献することを目指し、現在、国際共同研究、産官学連携、文理融合研究の推進など、多岐にわたる活動を展開しています。

国際共同研究に関しては、長年にわたり、韓国の漢陽大学校、シンガポールの南洋理工大学などと共催で国際シンポジウムを開催しています。近年では参加大学も増加しており、今年は神戸で開催されるため、多くの所員にとって国際交流を深める良い機会となることでしょう。また、本研究所が発行する『The Japanese Accounting Review』が主催する国際カンファレンスも、年々規模が拡大しており、世界各国から多数の研究者や大学院生が参加しています。その他にも、様々な国際シンポジウムやセミナーを積極的に開催しており、これらを契機に国際的なネットワークを活用し、国際共同研究が一層進展することを期待しています。

産官学連携は大学の重要な役割の一つであり、当研究所では、長年にわたり神戸商工会議所と共催で「神戸経済経営フォーラム」を開催しているほか、最近ではさまざまな企業との共同研究も進めています。共同研究の成果は、公開セミナーなどを通じて一般の方々にも広く共有されています。また、地域共創研究推進センターを設立するなどして、中央政府や兵庫県、神戸市などの地方公共団体との連携も強化しています。

さらに、経済学や経営学においても AI やビッグデータを活用した文理融合研究が求められており、それを進めるために、計算サーバーを GPU（グラフィックス・プロセッシング・ユニット）搭載のものに更新するなど、研究環境の整備も進めています。

加えて、当研究所が所蔵している鐘紡資料や廣岡家文書といった貴重な企業史料は、近代日本の経営や金融を理解する上で重要ですが、経年劣化が進んでいるため、デジタル化が急務となっています。そのため、整備・公開を進め、それらを活用した研究の促進にも努めています。

当研究所は、今後も強みを活かし、社会に貢献できる研究を進める神戸大学らしい研究拠点としてさらに発展できるよう努めてまいります。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。